

パラリンピック競技第2ステージ(基礎測定会)における 新型コロナウイルス感染症対策について

J-STAR プロジェクト パラリンピック競技第2ステージ(基礎測定会)について、令和2年5月14日(5月29日改訂)に公益財団法人日本スポーツ協会と協同して発行した「スポーツイベントの再開に向けた感染予防拡大ガイドライン」に準じて新型コロナウイルス感染症対策を講じてこれまで取り組んで参りました。この度、内容を見直し、一部改訂いたしましたので、基礎測定会(以下「測定会」という。)は、下記の通り新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催いたします。(※内容は今後も見直し、随時変わることをご了承ください。)

1. 基本方針(事前通知・対策・対応)

◆事前の確認・連絡調整

測定会を開催するにあたり、大前提として開催される都道府県・政令指定都市の方針に従う。また都道府県の障がい者スポーツ協会をはじめとする各関係団体と密に連絡を取り合い開催の判断や準備を行う。

◆事前通知の徹底

測定会参加者や運営スタッフに対し、参加決定通知や運営協力依頼等を通じて感染予防対策について事前に周知する。参加者には別紙「参加者用通知」で周知するとともに「体調チェックシート」に測定会 2 週間前から直前までの体調を記入(検温・咽頭炎の有無等)することを依頼する。また、対策・対応の内容を測定会当日に事務連絡や会場内へ掲示するなどして周知を徹底する。

※測定会2週間前から直前までの体調(体調チェックシート)で、発熱の記録がある、咽頭炎があった等体調不良があった場合は、測定会には参加できません。

※以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせるよう事前に周知する。

- ①体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③過去 7 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触が認められた場合

◆感染予防のための基本的な対策

感染予防の対策として以下の①～③を実施する。

- ①咳エチケット、マスク着用の徹底、②こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒の徹底
- ③検温・体調管理

◆クラスター発生防止のための対策

クラスター発生防止策として以下の①～③を実施する。

- ①会場の換気、②物理的距離の確保、③近距離での会話や発声の抑制、④測定会中の不織布マスク着用
- ※環境の設定や事前通知を徹底する。

◆感染が疑われる症状が出た場合を想定した対策(準備事項)

- 1)測定会開催施設、開催地の障がい者スポーツ協会や自治体の衛生部局等と予め相談しておき、医療機関等への搬送など、対応について決めておく。
- 2)個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者より得た情報(参加申込書、「体調チェックシート」等)について、期間(少なくとも1ヶ月以上)を定めて保存する。

◆感染が疑われる症状が出た場合の対応

- 1)測定会中に参加者・運営スタッフ・事務局より、感染が疑われる症状の報告があった場合は、速やかに運営事務局は当該者の症状を帯同の医師等に報告・確認する。
- 2)当該者の参加を中止し、事前に調整していた医療機関等へ連絡し、対応する。
- 3)測定会終了後、7日以内に感染発症の報告を受けた場合は、関係者(参加者や運営スタッフなど)へ対して速やかに報告し、情報共有する。

2 具体的な対策

■会場の設営について

- 施設の定めるガイドライン等に準じて設営ならびに準備を進める。
- 他者との間隔を開けた座席位置とする。
- 消毒用アルコールを各箇所に設置する(受付、測定会会場入口前、WC など)。
- トイレ等の洗面所には、石鹸・手拭き用のペーパータオルを設置し手指を乾燥させる設備は使用しない。使用したペーパーを破棄する為のゴミ箱も設置する(ゴミ回収にはマスク、手袋を着用する)。
- ドアノブ、手すり、机などをこまめに消毒する。
- 測定に使用する器具等をこまめに消毒する。
- 測定会の定員は会場収容数に対して一定数に制限する(開催地自治体の指針に従う)。

■受付時について

- 混雑を避けるため、受付時間の拡大と受付箇所の拡大に努める(距離をあけて並ぶなど目印の設置等)。
- 受付担当者は不織布マスクを着用する。
- 手指消毒ができるように消毒用アルコール等を設置する。
- 検温の実施と簡易的な問診による体調のチェックを行う。

■事務連絡等について

- 関係者挨拶等は極力減らす(1名とする)。
- 事務連絡等も書面で説明するなど極力減らす。

■測定の運営方法について

- 更衣室の使用は一度での使用人数に制限を設ける。
- 集合の際は他者との間隔を開ける。
- 不織布マスクを着用する。ただし運動量や気温、湿度、参加者の様子に留意し、必要に応じてマスクを外すよう注意を促す。

- 個別の測定について、身体接触がある体験・実技等を含めて「コロナ禍でのフィジカルチェック実施に関するガイドライン(JPC 医・科学・情報サポートフィジカルチェック領域)」を考慮して実施する。
説明は、極力動画・画像を通じて実施する。
- 会場の換気を充分に行う。
- 終了後は手洗いや手指の消毒を必ず行う。

■その他に関する事項

- 運営スタッフ等との打合わせは極力事前に済ませ、当日の打合わせは短時間を心がける。

お問合せ先
公益財団法人日本パラスポーツ協会
J-STAR プロジェクト担当
TEL: 03-5939-7021 FAX: 03-5641-1213